

単収・食味UP運動展開中！！

～ 米生産技術の基本に立ち返りましょう ～

単収、食味を確保・向上させるには、早期に有効分げつを確保することが重要です。

今月のポイント

- ① 水管理（活着・分げつ促進）▶初期生育を確保するため、天候に応じた水管理を行いましょ
- ② 一発除草剤の効果的な使用 ▶使用する除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょ
- ③ 中期除草剤の適正使用 ▶中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょ
- ④ カメムシ対策 ▶カメムシ抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょ

【3年産米の水管理・除草期間の反省点】

- ・藻類や表層剥離が発生し、分げつが進まなかった。
→多発の場合は水の入れ替え等も必要です。（この場合、除草体系の見直しも必要）
また、表層剥離等に適用のある除草剤を早めに散布しましょ。
- ・雑草の取りこぼしが多くみられた。
→一発除草剤は湛水状態ではじめて効果を発揮します。圃場の状態に応じた剤形を選択することも必要です。詳しくは別紙資料のチェックポイントを確認してください。

参考値 昨年の衣川地域「ひとめぼれ」展示圃 平均の生育状況です。

	草丈 (cm)	葉齢 (葉)	茎数/株 (本)
移植時	14.6cm	3.3葉	5本移植
6月5日	26.3cm	6.0葉	10.2本

1か月予報 令和4年4月28日発表・仙台管区气象台

	コメント	気温	降水量
(1週目) 4/30～5/6	天気は数日の周期で変わるでしょう。	低い見込み	ほぼ平年並 の見込み
(2週目) 5/7～13	天気は数日の周期で変わりますが気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすく平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	平年並か高い見込み	
(3～4週目) 5/14～27	天気は数日の周期で変わるでしょう。		

生産履歴（作業内容・農薬名・肥料名・散布日・使用量など）
の記帳を忘れずに行いましょう！

水管理 ポイント① 初期生育を確保するため、天候に応じた水管理を行いましょ

1. 移植後の水管理

1) 生育状況や天候に応じた水管理を行いましょ。

- ①活着するまでは、植え傷み等による葉面からの蒸散を防ぐため、深水管理（葉が2～3cm出る程度）としましょ。
※活着の目安は、葉と茎を引いても抜けない状態。

②活着後の晴れの日には田面が露出しない2～3cm程度の浅水とし、地温の上昇を促し、分げつ促進に努めましょ。最高気温15℃以下の寒い日や風の強い日は5cm程度の深水管理とし稲体を保護しましょ。

2) 昼間止水、夜間灌漑により生育の促進を行いましょ。

水引きの時間帯は気温と水温の差が少ない夕方から早朝に行い、日中は水を動かさないようにしましょ。

3) 低温時の注意点：低温が続く場合、時期にかかわらず深水管理とし稲体を保護しましょ。

2. 水の入れ換えが必要な水田（水の入れ替えはしっかり落水してから行う）

1) 青カナなどの藻類が多発する。（有機物の多投、水温20℃前後、降雨が少なく気温が高い）

※水の入れ換えでは改善できない場合は、「モグトン粒剤」を散布しましょ（特別栽培米では使用できませんので注意してください）。

2) 稲わらや堆肥などの有機物を多投した。転作田を還元しガスが発生する。

3) 水持ちが良すぎて根腐れが発生する。（1回の入水で5日以上持つ水田）

3. 稲の生育ステージに応じた水管理の目安

暖かい日は浅水管理で生育（分げつ）の促進を図り、寒い日は深水管理で稲を低温から守りましょ。

生育ステージ	平年の時期	水管理	
		浅水	深水
田植え～活着期	田植え後3～4日	葉先が2～3cm出る程度	
活着期	活着後5日程度	2～3cm	5cm程度
分げつ期	田植え後一週間程度～6月24日頃まで (株当たり25本を目標)	3～5cm	7～10cm
中干し	6月25日頃～7月10日頃 (有効分げつが確保できたら実施)	0cm	
幼穂形成期	7月11日頃～7月20日頃	3～5cm	10～15cm
減数分裂期	7月20日頃～7月30日頃		15cm以上

植え直しについて 植え直しが必要な水田と、植え直しの弊害

欠株や一本植えの株が生じて、隣の株が大きくなる場合が多く、水田全体では茎数の密度が調整されて収量にはほとんど影響しません。連続で5株以上欠株をした場合をのぞき、植え直しの必要はありません。

除草剤を散布した後に、植え直しのため水田に入ると…
除草剤の処理層が壊れてしまい、雑草が発生する原因となります！

天候に応じたこまめな水管理で、
早期に有効分げつを確保する事が、
収量アップのポイントです！



水を入れ替えても藻類が抑えられない場合は、次年度の耕種概要等を見直しましょ。



除草剤

★一発除草剤 : 特別栽培米⇒「キマリテ」
ふるさと純情米⇒「アップレZ」「ライジンパワー」「ベッカク」「流星」等

ポイント② 使用する除草剤を確認し、使用方法に基づき散布しましょう

1. 一発除草剤の使用方法について

- 1) 気温が高いと、ノビエの発生が早まることが予想されますので早めに散布しましょう。
- 2) 代掻き後の日数(10日以内)とノビエの葉齢を確認し、適期に除草剤の散布を行いましょ。
- 3) 散布後は、除草剤の有効成分が土壌表面に吸着し、処理層を形成するまで、少なくとも1週間程度は湛水状態を保ってください。



商品名	剤型	10a当たり使用量	使用時期	使用方法	水深	
アップレZ	1*粒剤	1kg(1袋)	移植直後～ノビエ3葉期	湛水散布 ※田植同時処理可能	5cm 以上	
	フロアブル	500ml(1本)	移植後30日まで	湛水散布 ※水口施用可能	5cm 以上	
	ジャンボ	400g (小包装(パック)10個)		移植後3日～ノビエ3葉期	湛水散布 (小包装のまま投入)	10cm 以上
	400FG	400g (1袋4kg入:1ha分)		湛水散布、湛水周縁散布 又は無人航空機散布	5cm～ 10cm	

※その他、特別栽培米・ふるさと純情米で使用できる除草剤については、「春肥料施肥設計指導会資料(水色の冊子)」をご覧ください。また、使用方法等についてはラベルを参考にしてください。

2. 一発除草剤の有効な活用方法

- ①漏水田・砂壤土の場合は、粒剤の散布をお勧めします。畦畔の補修を事前に実施しましょう。
 - ②代掻きからの日数や雑草の発生状況を考慮し、代掻き後10日以内に散布しましょう。
 - ③藻類が発生した場合は、除草剤が拡散しにくくなるので、早めの散布を心がけましょう。
 - ④散布は5～10cm程度の湛水で行い、散布後1週間程度は農薬が流出しないよう止水としましょう。
 - ⑤中干し時期までは、湛水状態を保ち田面を露出させない水管理をしましょう。
 - ⑥散布後は、除草剤の処理層を壊してしまいますので本田に入らないようにしましょう。
- ※田植え同時処理後は防除剤効果を発揮し、薬害を防止するために、速やかに入水しましょう。

3. 中期除草剤の使用方法について

★中期除草剤 特別栽培米⇒「ハサグラン」 ふるさと純情米⇒「レプラス」「クリンチャーバスME」等
※中期除草剤は雑草の取りこぼしがあった場合に使用しましょう。
※特別栽培米は「ハサグラン」のみの使用となります(ノビエには効果がありません)。

ポイント③ 中期除草剤は、使用方法に基づき散布しましょう

- ①「レプラス」及び「クリンチャーバスME」はふるさと純情米で使用できます。
- ②雑草の発生状況に応じて、早めに散布しましょう。
- ③「クリンチャーバスME」は、落水(足跡に水が残る程度)状態で、散布しましょう。
- ④水の出入り口を止め、均一に散布しましょう。
- ⑤雨が降っても、散布後7日間は落水しないようにしましょう。
- ⑥散布後2日以内の雨は効果が劣る場合があるので、好天が続く時に散布しましょう。



	商品名	剤型	主な対象雑草	使用時期	10a当り使用量
湛水散布	レプラス	1*粒剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後14日～ノビエ4葉期 ただし、収穫60日前まで	1kg
		ジャンボ			10個 (400g)
落水散布	クリンチャーバスME	液剤	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等	移植後15日～ノビエ5葉期 ただし、収穫50日前まで(落水散布又はごく浅く湛水して散布)	1000ml (希釈水量: 70～1000)
	ハサグラン	粒剤	水田一年生雑草(イネ科を除く)ホタルイ、オモダカ、クログワイ、シズイ等 ※クログワイは草丈15cm以下、シズイは20cm以下で使用	移植後15～55日 ただし、収穫60日前まで(落水散布又はごく浅く湛水して散布)	3～4kg
液剤		500～700ml (希釈水量: 70～1000)			

中後期除草剤は別紙も参考に。不明な点は、お気軽に営農アドバイザーへご相談ください!

病害虫防除

1. 葉いもち防除 取り置き苗は、葉いもちの発生原因になります! 圃場内に放置せず速やかに処分をしましょう。前年いもち病が多発した圃場、多肥や復元田などで稲の生育が旺盛な圃場は、いもち病が発生しやすいので、圃場をよく観察しましょう。



2. カメムシ対策

ポイント④ カメムシ抑制のため、畦畔等の草刈りはこまめに行いましょう

畦畔等のイネ科雑草を出穂させないことで、カメムシの発生密度を低減させることができます。カメムシ抑制対策として、畦畔・農道・法面等の草刈りを5月25日頃までに行いましょう。また、水田内にイネ科雑草があるとカメムシの発生源となります。中後期除草剤で雑草防除を行いましょう。

カメムシ越冬世代のふ化盛期が今後の天候によっては早まることが予想されます。ふ化盛期を目安に地域全体で草刈りを行い、カメムシの発生密度低減に努めましょう。
 <ふ化盛期> 江刺地点 昨年:5月26日 平年:5月26日

■水稲の栽培、農薬使用等に関するお問い合わせは… 平日 午前8:30～午後5:00

衣川地域センター営農相談直通ダイヤル	52-3204
衣川地域センター営農経済課	52-3212
営農アドバイザー携帯電話	080-6027-6137 (小野寺 則人)
	080-5559-8955 (小野寺 良)
	090-4478-9918 (高橋 明子)

■生産資材・生活資材のご注文・配達…

拠点配送センター 0120-516-911 (必ずフリーダイヤルから入力してください)

■生産資材等の直取り・窓口供給は… 衣川資材センター 52-3214

営業時間: 午前8:30～午後5:00

休日対応 5月 土曜・日曜日 午前8:30～正午

6月 土曜日 午前8:30～正午

※期間を通し祝祭日は休業いたします。



LINEにて営農情報を発信しています! QRコードよりお友達登録をお願いします。

